



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブ青少年奉仕合同委員長会議



2021年8月28日

第2660地区インターアクト委員会
2021-22年度委員長 浜田 厚男



★インターアクトは、
12歳から18歳までの青少年のための奉仕クラブです。

★提唱クラブと共に奉仕プロジェクトを計画し、実行する。

第2660地区の会員



SERVE TO CHANGE LIVES

提唱クラブ	インターアクトクラブ	設立年月日
大阪南	清風学園中学・高等学校	1975年7月22日
大東	大阪桐蔭中学・高等学校	1976年6月8日
大阪帝塚山	浪速中学校・高等学校	1982年4月1日
大阪天王寺	四天王寺高等学校・中学校	1983年3月17日
八尾	金光八尾中学・高等学校	1987年7月29日
大阪	相愛中学・高等学校	2003年9月5日
守口イブニング	大阪国際大和田中学校・高等学校	2014年4月1日
高槻	高槻中学校・高等学校	2015年10月1日
大阪中之島・大阪東	開明中学校・高等学校	2017年4月1日
池田くれは	アサンプシヨン国際中学校高等学校	2018年7月1日

インターアクトクラブとロータリークラブとの今後の関係



SERVE TO CHANGE LIVES

今までは各学校へのサポートに徹していましたが
今後は、若い人たちに、ロータリーが、行なっている奉仕活動、
色々なプログラム、支援している組織、活動等を紹介して
より深い、繋がりを構築して、将来の人材を育てて行くサポート
をしていきたい。



- ① インターアクトクラブのガバナー表彰
- ② 青少年交換プログラムの紹介
- ③ ローターリー奉仕活動の紹介

① インターアクトクラブの表彰



SERVE TO CHANGE LIVES

ロータリー賞の目標と達成の ワークシート(インターアクトクラブ) My Rotaryより

ロータリー賞(インターアクトクラブ)は、より大きなインパクトをもたらし、参加者の基盤を広げ、より積極的なかかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の 20 の目標のうち、少なくとも 11 の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。

クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこの PDF をご利用ください。スポンサーサークルの役員とクラブのアドバイザーがオンラインの

推薦フォームを用いてクラブの達成を報告する際にも、この PDF を参照できます。

必要な要件



SERVE TO CHANGE LIVES

□ ータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです:

- 20 の目標の詳細に目を通す
- クラブのアドバイザーからの指導を受け、11 の目標を選ぶ
- 達成したい目標を選び、「目標」の設定の欄に印をつける
- クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- スポンサークラブの役員とクラブアドバイザーが年度を通してこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- スポンサークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーと協力し、8 月15 日までにオンラインの推薦フォームを提出する。
書式の記入にあたっては、このワークシートを参照する。

賞を受賞するには



SERVE TO CHANGE LIVES

ロータリー賞を受賞するには、インターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6月30日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。

また、成人のアドバイザーが、6月30日までにアドバイザーの氏名と連絡先情報をロータリーに提出している必要があります。

目標 ローター賞の20のカテゴリー



SERVE TO CHANGE LIVES

- 1 クラブ会員数
- 2 奉仕への参加
- 3 ローター行動グループとの関わり
- 4 リーダーシップ育成への参加
- 5 地区大会への参加
- 6 ローター親睦活動との関わり
- 7 地区研修への参加
- 8 ラーニングセンターの利用
- 9 年次基金への寄付
- 10 ポリオプラス基金への寄付



目標 ロータリー賞の20のカテゴリー



SERVE TO CHANGE LIVES

- 11 奉仕プロジェクト
- 12 RYLAへの参加
- 13 若いリーダーのためのプログラム
- 14 学友の参加
- 15 戦略計画
- 16 ウェブサイトとソーシャルメディアの更新
- 17 クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用
- 18 ブランドリソースセンターの利用
- 19 ロータリーの公式推進資料の利用
- 20 クラブの推進





20の項目から**11**の目標を選定してロータリー賞の受賞を目指すとありますが、手始めに地区としてわかりやすい目標を設定する。

わかりやすい目標を設定する～人びとをつなぐ



SERVE TO CHANGE LIVES

以下のうち少なくとも2項目を達成

若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。

提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、キャリア開発支援またはメンタリング活動を立ち上げ、参加する。

提唱ロータリークラブまたはアドバイザー（顧問）と協力して、卒業するインターアクターにローターアクトクラブを紹介する

（ローターアクトクラブは大学と地域社会のどちらを基盤としてもよい）。

「世界インターアクト週間」やインターアクト創立記念日に活動を実施し、報道機関を招いてクラブとロータリーの活動を伝える。



わかりやすい目標を設定する～行動する



SERVE TO CHANGE LIVES

以下のうち少なくとも3項目を達成

「世界青少年奉仕デー」(Global Youth Service Day) のためのプロジェクトを計画、実行する。

ロータリーのポリオ撲滅活動への募金または認識向上を目的とした行事を開く。

提唱ロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、ロータリーの7つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。

クラブで成功させたプロジェクトの情報（活動の詳細、ボランティア活動に費やした時間、募金額など）を、提唱ロータリークラブまたはアドバイザーに頼んでRotary.orgに投稿してもらう。

ロータリーブランドのガイドライン、テンプレート、「世界を変える行動人」キャンペーン用広告・資料、その他の関連資料を活用する。



② 青少年交換プログラムの紹介



SERVE TO CHANGE LIVES

目標にもありました若いリーダーのためのプログラム

若いリーダーのためのロータリープログラム(RYLA、ロータリー青少年交換など)を会員に紹介するための会合を開く。



青少年交換プログラムとは



SERVE TO CHANGE LIVES

異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界の平和を少しずつ実現できると私たちは信じています
世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

特に短期の交換留学を勧める

数日間から数カ月間までの短期交換は、夏休みや春休みの期間中に行われます。多くの場合、ホストファミリー宅に滞在しますが、世界中の交換留学生たちと合宿やツアーに参加することもあります。



ロータリークラブからのアプローチ



SERVE TO CHANGE LIVES

交換プログラムの詳細の説明を、インターアクトクラブに
ホストロータリークラブから紹介、説明の機会を設ける。

留学体験を紹介する機会（体験者の話など）を設ける。



③ ローターリー奉仕活動の紹介



ロータリーの奉仕活動を具体的に紹介する。

スピーカーを呼んで講演してもらう。

奉仕活動の動画等を紹介する。



①のインターアクトクラブの年度ロータリー賞を獲得するために各インターアクトクラブに目標を立てて達成してもらうように進めていくようにします。

締め切りが8月15日なので今年度から計画をたてて来年度のロータリー賞獲得を目指します。

この活動によってインターアクトからローターアクトさらに将来のロータリアンと繋いでいきたいと思えます。